



障がい児者サロン

▶障がい児者の余暇活動を考える

2月1日、今年度最後の障がい児者サロンが行われました。この町で、障がいのある人やその家族が気軽に集まれるような場所を作りたい…。そんな思いから始まった「障がい児者サロン」(鞍手町障がい児者の余暇活動を考えるつぐみの会)。このサロンは偶数月の第1日曜日に開催し、ふうせんバレー等のボール遊びやおしゃべりを通して、障がいのある仲間や家族、学生ボランティアと交流を図りながら、楽しい時間を過ごしました。今年度は5回行ない延べ213人が参加。「今後もサロンがさまざまな意味の交流の場となるようにしたい」と来年度に向けた抱負をスタッフが語ってくれました。



みんなで鬼をやっつけました

▶2月3日、町立保育所で節分の豆まき

すべての町立保育所で恒例行事の豆まきが行われました。写真は剣第一保育所での様子。手作りのお面をかぶって升を手に、豆をまいたり、落ちていた豆を拾ったりとみんな楽しんでいるようでしたが、先生ふんする大鬼が登場したとたんにその雰囲気は一転。事前に「鬼は外～、福は内～」と鬼退治の練習をした子どもたちでしたが、襲いかかってくる大鬼に隅に追い込まれて泣きだす子や果敢に立ち向かう子さまざまでした。最後にはみんなで力を合わせて大鬼をやっつけました。来年もみんなで力を合わせて大鬼をやっつけようね。



剣南小学校で竹細工

▶一生懸命作りました

2月18日、剣南小学校の3年生が図工の時間に竹細工作りに挑戦しました。ゲストティーチャーは、吉澤淳さん(中山)。吉澤さんは竹細工の名人で、毎年手製の干支の置物を町内の施設や小学校に配布しています。児童たちが挑戦するのは今年の干支の「丑」。竹細工は、この春卒業する6年生とお世話になった人へのプレゼントと自分のために作りました。「竹細工の材料はすべてが竹、捨てるものはないんだよ」という吉澤さんの言葉にびっくり。この竹細工作りで児童たちが学んだことは、「何一つ無駄なものはありません。物を大切にしましょう」ということです。一生懸命作った竹細工は「世界でたった一つの宝物」になったはずです。



鬼は外～、福は内～

▶鞍手幼稚園に大鬼がやって来た

節分の豆まきには1日早い2月2日、鞍手幼稚園で豆まきが行われました。突然真っ暗になった部屋の中に、いきなり大きな鬼が入ってきました。子どもたちは、事前に心づもりが出来ていた!?にもかかわらず、泣き出す子、逃げ惑う子、果敢に豆を投げ鬼と戦う子さまざまでした。最後には、子どもたちのパワーに鬼も退散していきました。今年はきっとたくさんの福が舞い込んで、いい年になることでしょう。来年はもっと元気に大鬼の退治をしようね。



すくすく日記

3月生まれ

Happy birthday to you.



お待ちしております

「すくすく日記」のコーナーでは、毎月、発行月に誕生日を迎える満3歳までのちびっ子を募集しています。4月生まれは、3月12日(木)までに電話で役場総務課 ☎42局2111番へお申し込みください。



つじもとそらと
辻本空都くん

平成20年3月2日生まれ

そらとくん、お誕生日おめでとう。3人目の成長はとても早く、もう少しゆっくりでいいのになと思います。これからもいかにねえねと仲良く元気に育ててね。(父 善紀さん、母 正美さん・中山)



よしわき
吉脇ゆめちゃん

平成20年3月2日生まれ

ゆめ、1歳のお誕生日おめでとう!! いつもテンションノアゲアゲで超活発な姿を見てハラハラしながら笑わせてもらってます。これからも、その愛嬌でみんなにかわいがられるゆめでいてね!! (父 周一さん、母 理恵さん・弥生)



さかいみほね
酒井美羽ちゃん

平成19年3月11日生まれ

誕生日おめでとう。あっという間に2歳だね。楽しく歌ったり、お話をしたりと1年で随分と成長したね。妹とも仲良く遊んでくれてありがとう。これからもいっぱい遊んで元気に育ててね。(父 貴弘さん、母 由香さん・小牧)



よしおかりょうけん
吉岡伶賢くん

平成18年3月16日生まれ

♡ Happy birthday ♡
You're full of life, but don't get so excited please! (父 直樹さん、母 綾子さん・小牧)



うさきゆうき
宇佐祐樹くん

平成20年3月16日生まれ

祐樹くんお誕生日おめでとう。体を動かすことと絵本を見るのが大好きな祐樹くん。いつも元気いっぱいです。これからも元気に大きく育ててね。(父 哲治さん、母 美和さん・弥生)



ありた けん
有田 廉くん

平成19年3月23日生まれ

廉くん2歳のお誕生日おめでとう。仮面ライダーが大好きで、毎日変身して遊んでいますね。ガンコでワンパクだけど、おしゃべりも上手になってきて、毎日の成長がとっても楽しみです。家族みんな、その笑顔に癒されていますよ。元気に大きく育ててね。(父 誠二さん、母 好恵さん・中山)

百人一首の源平合戦

▶ クラスマッチの勝敗の行方は……

2月4日、鞍手北中学校で2年生のクラスマッチが行われました。このクラスマッチは、国語の授業で古典を学ぶことから始まったもので、源平合戦のルールをクラスマッチ用に改良したルールで3クラスの対抗戦です。場内は雅楽の音と上の句を詠みあげる原田先生の声。生徒は一樣に真剣な眼差しで自陣の取り札を見据えます。まるで球技大会のような白熱した試合でした。結果は8勝4敗で1組が優勝。百人一首の中で一番好きな句は?と尋ねると「足曳の山鳥の尾のしだり尾の長々し夜を独りかもねむ」と福原さん、野中さん、寺田さん、大庭さんが一斉に答えてくれました。表彰式の最後には「みんなが楽しめて、いい大会になったと思います」と千手くんが閉会の言葉を述べていました。これからもクラスの輪を大切に、中学生活を送ってくださいね。



火災から町の宝を守る

▶ 1月23日、中山不動尊で

毎年1月26日は、文化財防火デー。これは昭和24年1月26日、奈良の法隆寺にある金堂が炎上し、壁画が焼損したことを機に、昭和30年に制定されたものです。毎年この日には、貴重な文化財を火災から守るため、消火訓練や防火設備の点検などが全国一斉に行われています。鞍手町では1月23日、国指定重要文化財・木造不動明王及び二童子像が祀られている中山不動尊で行いました。午前10時、119番通報を合図に待機していた直轄広域消防本部と鞍手出張所の消防隊員が消火活動を開始。本番さながらの訓練に、お不動様も安心していることでしょう。

